

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①確かな学力の育成と、生徒が課題を発見し解決に向けて主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせるカリキュラムマネジメントを行う。</p> <p>②デジタル社会で求められる力を身に付け、文理横断的・探究的な学びを充実させ、生涯にわたり挑戦し学び続ける力の基礎を培う。</p>	<p>①基礎的な知識や技能の定着を図るとともに、自らが課題を発見し、それを解決しようとする姿勢を育む。学習支援アプリの活用を促し、生徒の家庭学習習慣の定着に努める。</p> <p>②様々なICTの活用や適切なデータ処理の知識・技能を身に付け、探究的な学びを充実させる基礎を培う。</p>	<p>①生徒の「主体的に学習に向かう態度」を育むことをテーマに、教科ごとに単元計画を見直し授業改善を行う。また、学習支援アプリのポートフォリオや課題配信機能で学びを振りかえる姿勢の育成や学習習慣の定着を図る。</p> <p>②生徒及び教職員の生成AIの効果的な活用や、適正な利用を促す。理数探究基礎や総合的な探究の時間で、生徒が自らの興味関心に基づき確かなデータを収集し、分析する力を培う。</p>	<p>①生徒による授業評価アンケートの「主体性」に関わる項目の肯定的な回答があったか。生徒の学習支援アプリの利用や振り返り記録がなされたか。</p> <p>②生徒及び教職員が整備したICT機器や生成AIを活用し、学習の質的向上や業務改善が見られたかどうか。生徒の探究活動でデータ活用ができたか。客観性のあるデータ利用等の質的な向上が見られたかどうか。</p>					
2	生徒指導・ 支援	<p>①誠実で良識ある有為な人材の育成をめざし、自他の人格や個性を尊重する協調性を涵養する。</p> <p>②生徒に寄り添い心身ともに健康な生活が送れるように支援を行う。</p> <p>③部活動や学校行事等を通じて、生徒が主体的に関わりをもち、他者との協働する力を育み、達成感や自己肯定感の醸成となる指導・助言を行う。</p>	<p>①正しい行動やマナーについて、生徒自身で考え、生徒同士で指摘しあい、地域の一員としての意識を涵養する</p> <p>②教育相談体制を充実し、適切に生徒へ情報を提示していく。また、職員間で情報共有を定期的に行い、支援体制を整備するとともに、安全で安心な環境作りに努める。</p> <p>③部活動や学校行事等の全ての活動において、主体性を育み、支援する。</p>	<p>①服装、登下校時のマナー、SNSの利用等について、生徒間でルールを再確認し行事等で互いに指摘し合うなど自律的行動をとれるよう指導する。</p> <p>②生徒情報共有会の定期開催等、組織的な支援体制を継続する。カウンセリングの案内方法を工夫することで、より相談しやすい身近な窓口となるよう周知する。</p> <p>③生徒会本部役員会や部長会において、生徒自らが課題を発見し立案・実行できるよう、教員は「良き助言者」として伴走する支援に注力する。</p>	<p>①服装や登下校時のマナー、SNS等について、生徒同士が互いに意識を高め合おうとする姿勢が見られたか。</p> <p>②コーディネーター会議を中心に、適切に情報と方針の共有ができたか。相談窓口の利用状況やアンケートにおける「困ったときに相談できる場所がある」の項目に向上がみられたか。</p> <p>③生徒が主体的に議論を深め、考え企画・実行する場面が増えたか。教員が支援者としての役割を意識して関わられたか。</p>					
3	進路指導・ 支援	<p>①生徒が自らの生き方について主体的に考え、多様な選択肢の中から将来の道を切り拓けるキャリア教育を行う。</p> <p>②社会の一員として、自己肯定感をもって社会で活躍できる人材を育み、卒業後のビジョンを明確にする。</p>	<p>①幅広く経験を積み、自らの可能性を広げ、高い目標を設定できるようにするとともに、課題を発見し、解決に向けて主体的に取り組む力を育成し、自分自身のキャリアにつなげる。</p>	<p>①学校内外の様々な活動と自身のキャリア設計を結び付け、将来のより高い進路目標の実現に向けて、主体的に考え、粘り強く取り組む姿勢を育む。</p> <p>①-2 進路ガイダンス等で、キャリア教育について主体的に考え、取り組める体験の充実を図り、キャリアパスポート等で目標設定や振り返りを行う。</p>	<p>①様々な活動等で培った主体的な学びや思考が進路実現の活動に活かされ、高い目標設定での進路実現につながったか。進路に関する課題を発見し、解決に向けて行動できたか。</p> <p>①-2 進路ガイダンスやキャリアパスポートによる振り返りの中で、蓄積した内容を次の活動につなげることができたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	①地域での学校の役割を意識し、地域との連携・協働を深め、地域のニーズに応え、地域の活性化に貢献できる開かれた学校づくりに取り組む。	①学校コミュニティをつくるため、地域活動を積極的に行う。 ②生徒や保護者、地域のニーズに応じて、速やかに学校の情報を発信・伝達し、より良い学校づくりを行う。	①地域との連携・協力を積極的に行い、地域との関係性を、より良い学校づくりへ活かす。遊 ing 西高等に多くの生徒が主体的に参加し、地域との交流の機会を増やし、開かれた学校づくりを進める。 ①-2 地域清掃活動を通じて、地域住民とのコミュニケーションや交流の機会を確保する。 ②ICT機器や情報伝達アプリを活用して、生徒や保護者への速やかな情報伝達に努める。 ②-2 ホームページの更新を速やかに行い、掲載内容等の工夫・改善を行い、本校の教育活動の積極的情報発信に努める。中学生や保護者等に対して、本校理解に資する内容とする、	①地域との交流の機会を設定し、参加人数や活動場所が増加したか。保護者や地域から寄せられた情報・意見を学校運営の改善に活かされたか。遊 ing 西高を生徒の主体的な計画で実施できたか。 ①-2 地域貢献デーを計画通り実施し、生徒が主体的に参加できたか。 ②生徒・保護者への適切な情報提供を行うことができたか ②-2 ホームページ更新と内容の充実が見られたか。					
5	学校管理 学校運営	①生活全般の安全意識を高め、自らの命を自ら守る防災意識を育む。 ②豊かな心を育む環境整備に努める。 ③ICT利活用のインフラや新たなコンテンツ導入を中心とした整備を行う。	①学校全体で防災意識を高める指導を行い、災害時に備えて準備を進める。 ②校内や校舎周辺の環境の整備・美化について、保護者と連携しながら生徒の意識を高め、学校を大切にすることを育む。 ③グループ業務、教科等、学校教育活動の中で、さらにICTの利活用を進め、効果的活用例を検討する等、より具体的で、組織的な取組とする。	①防災避難訓練を2回実施する。基本的な防災意識の啓発と設定条件下での訓練活動等、内容を工夫する。 ②日常の清掃活動を通じて、生徒の校内の環境美化と施設を大切にすることを育む。PTAと連携して協働した美化活動を計画し、生徒・保護者が一体となって学習環境維持の意識を育む。 ③ICT機器の保守管理を適切に行い、良好な通信環境の維持と必要な備品を整備する。教科指導でのより一層の活用と円滑な校務運営に活用を目指す。	①訓練の目的を理解し、迅速な避難行動ができたか。自助・共助・公助に係る訓練計画を実施できたか。 ②生徒を中心に環境美化の意識を高めることができたか。校内環境が良好に維持されたか。 ③ICT機器を適切に管理できたか。教科指導等、様々な場面でのICT機器が有効活用されたか。	え				